[redacted]

ＱＶ　Ｗｅｂ

取　扱　説　明　書

お取り扱いに際しては、必ずこの取扱説明書をお読みください。また、お読みになったあとは大切に保管してください。

[redacted]

目次

1. QV Web 設定とは 3
2. QV Web 設定に接続する 3
2.1. 有線 LAN で接続する 4
2.1.1. 表示機とパソコンを LAN ケーブルで接続する 4
2.1.2. パソコンの IP アドレスの設定を変更する 4
2.1.3. ログイン画面を表示する 9
2.2. 無線 LAN で接続する 10
2.2.1. Android タブレット端末(HUAWEI MediaPad T3)での操作例 10
2.2.1.1. 機器を Wi-Fi に接続する 11
2.2.1.2. ログイン画面を表示する 14
2.2.2. iPhone での操作例 15
2.2.2.1. 機器を Wi-Fi に接続する 15
2.2.2.2. ログイン画面を表示する 17
3. QV Web の基本操作 18
3.1. ログインする 18
3.2. 基本操作 19
3.2.1. メニューについて 19
3.2.2. 設定の反映について 21
3.3. ログアウト 22
3.4. 表示機の工場出荷値 22
4. 機能説明 ~スケジュール~ 23
4.1. プレイリスト設定 23
4.2. 営業時間 24
4.2.1. 24 時間表示をし続けたい場合 24
4.2.2. 営業時間帯だけ表示したい場合 25
4.2.3. 全く表示したくない場合 27
4.2.4. スケジュール動作方法 28
5. 機能説明 ~パネル~ 29
5.1. 固定輝度 30
5.2. 昼夜 2 段階輝度 31
6. 機能説明 ~時刻~ 33
7. 機能説明 ~ネットワーク~ 34
7.1. ftp ユーザ名確認 34
7.2. QV Web 設定ログインパスワード変更 35

8．機能説明 ~メンテナンス~ 36
8.1. 製品情報確認 36
8.2. 表示機の再起動 37
8.3. ログのダウンロード 38
8.3.1. 例 ~通信ログをダウンロードして保存する~ 38
8.4. 表示コンテンツのクリア 40
9．よくある質問 41
9.1. QV Web への接続について知りたい 41
9.2. インターネットが使えなくなった 41
9.3. 明るさ・表示時間について知りたい 42
9.4. 時刻・日付について 42
9.5. パスワードについて知りたい 42
10．索引 43

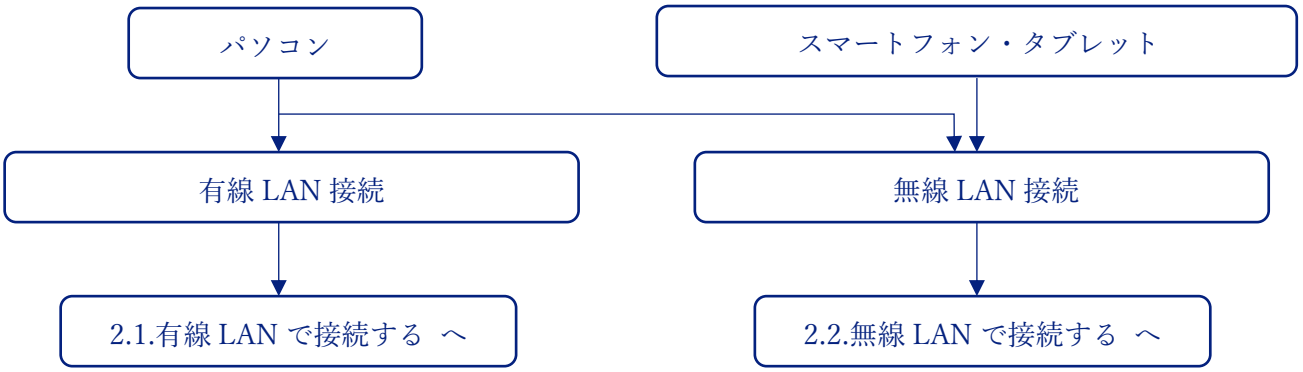
1. QV Web 設定とは

お手持ちのパソコンや スマートフォンなどにインストールされている Web ブラウザを使用して、当社 QV 表示機（以下「表示機」と表記）のシステムやスケジュール設定等を行う Web 画面です。
QV Web 設定では以下の設定を行うことができます。

設定項目	説明	参照項番
スケジュール	表示機の営業時間やスケジュールの動作方法、プレイリストの ON/OFF 設定をします。	4. 機能説明 ~スケジュール~
パネル	表示機の輝度（明るさ）を設定します。	5. 機能説明 ~パネル~
時刻	表示機の時刻を設定します。	6. 機能説明 ~時刻~
ネットワーク	FTP のユーザ名確認と、QV Web 設定へのログインパスワードを変更します。	7. 機能説明 ~ネットワーク~
メンテナンス	表示機のバージョン確認やログ取得などメンテナンスに関する操作を行います。	8. 機能説明 ~メンテナンス~

2. QV Web 設定に接続する

お使いの機器によって以下の方法で接続できます。

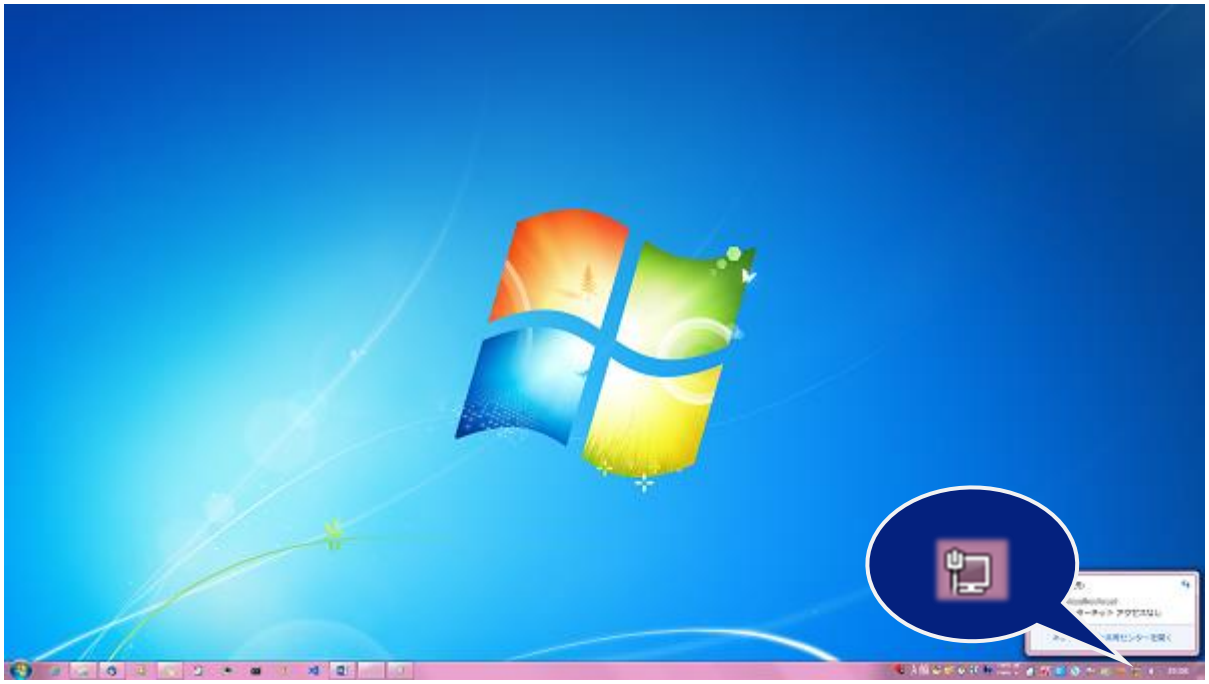


2.1. 有線 LAN で接続する

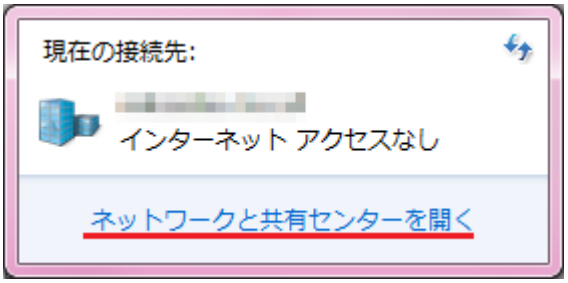
2.1.1. 表示機とパソコンを LAN ケーブルで接続する

2.1.2. パソコンの IP アドレスの設定を変更する

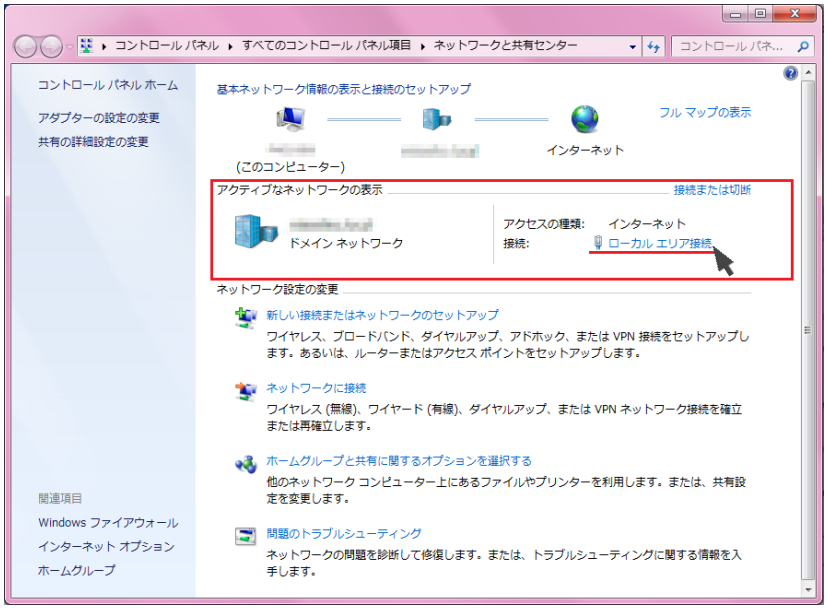
ローカルエリア接続を確認します。



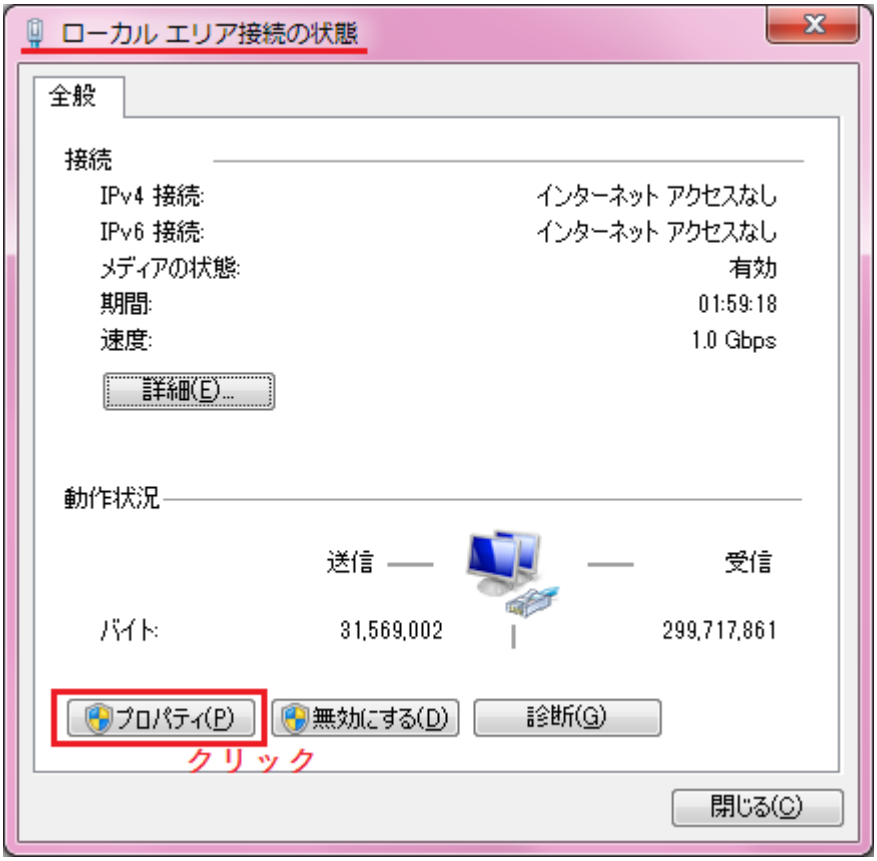
タスクバーのアイコンをクリックします。



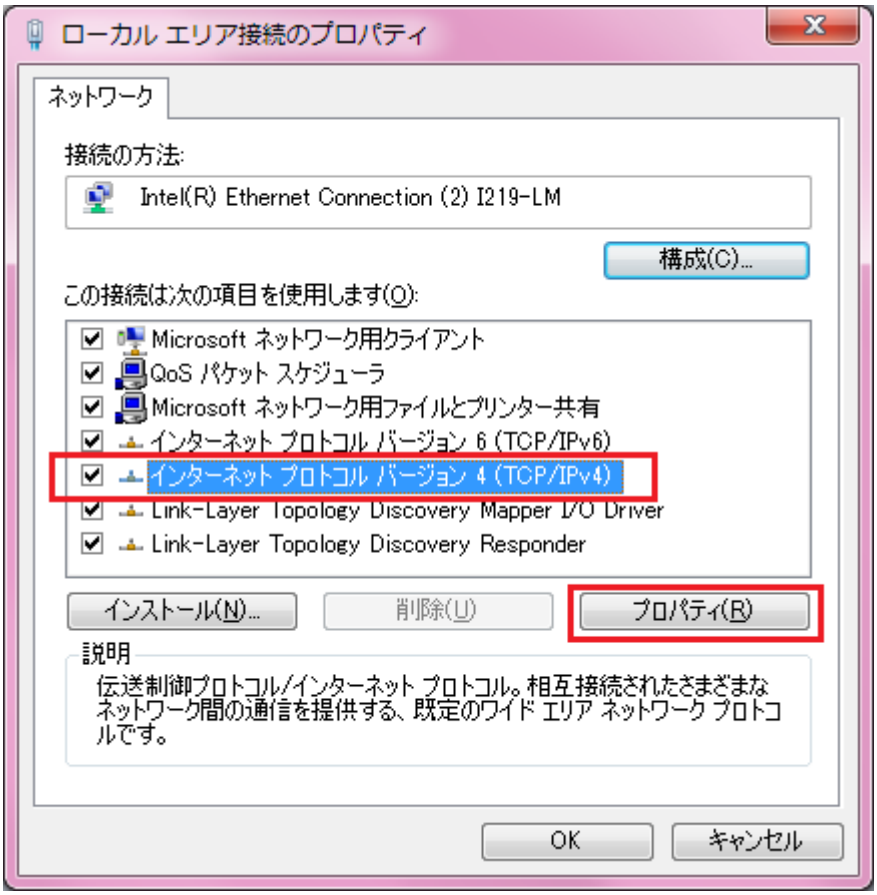
「ネットワークと共有センターを開く」をクリックします。



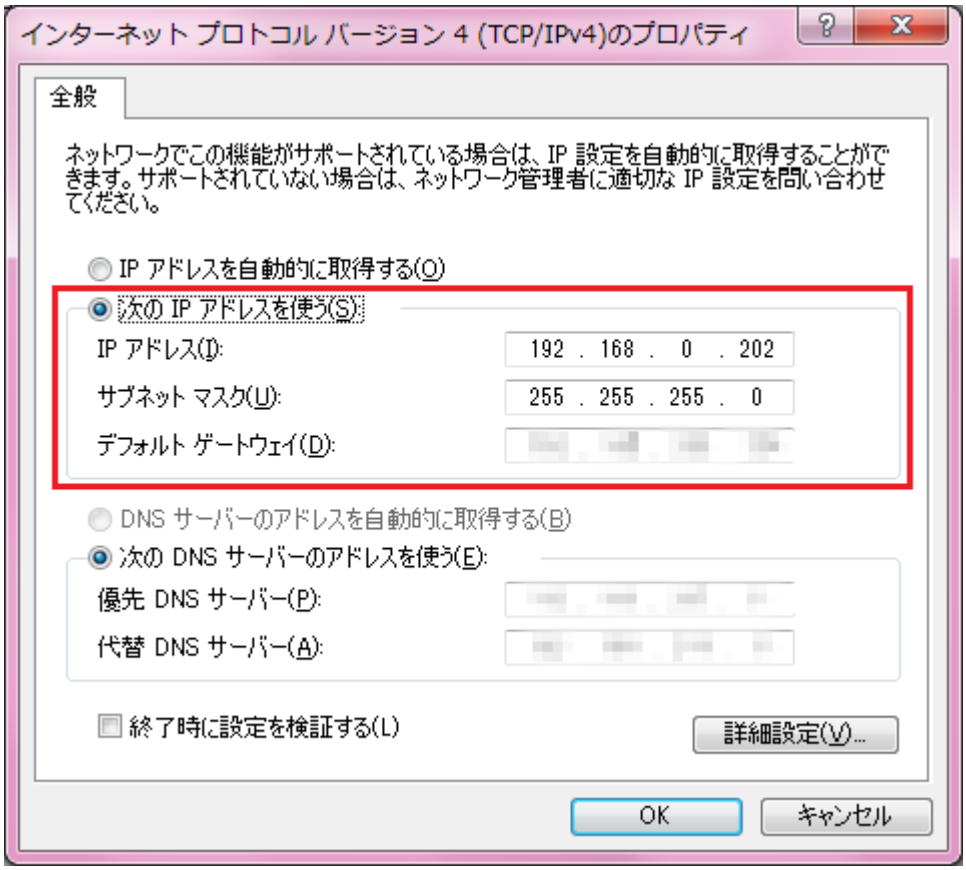
接続がローカルエリア接続になっていることを確認し、
「ローカルエリア接続」をクリックします。



ローカルエリア接続の状態で、「プロパティ」をクリックします。



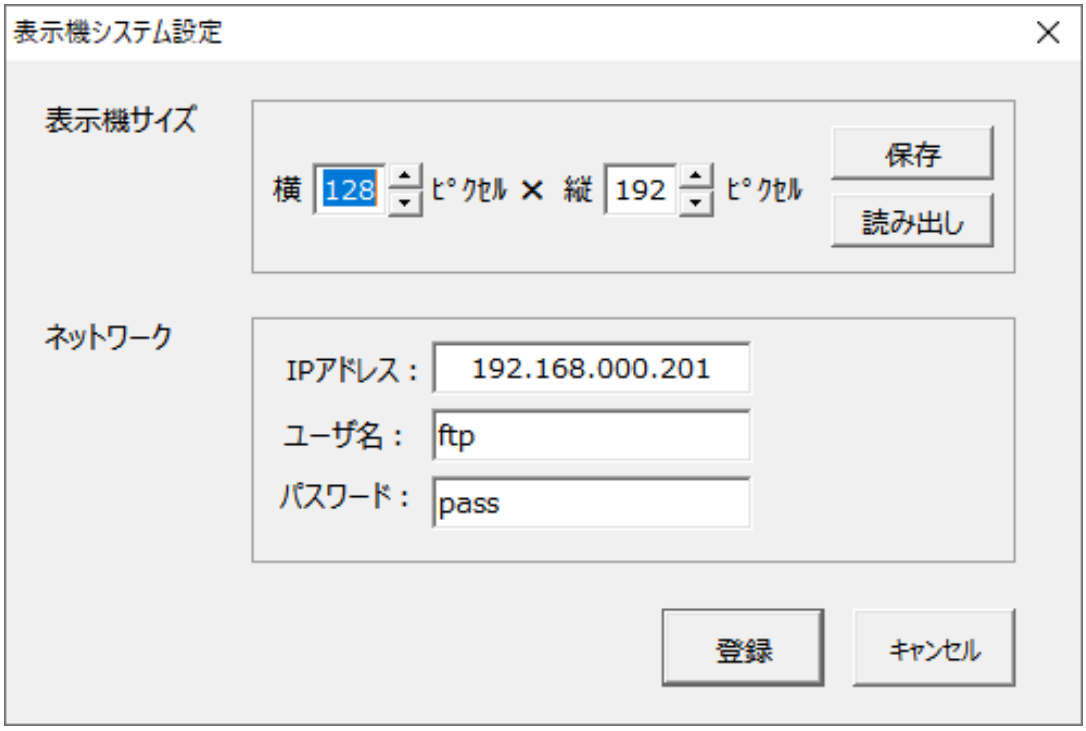
「インターネット プロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)」をクリックして選択状態にしたあと、「プロパティ」をクリックします。



「インターネット プロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)のプロパティ」で
IP アドレスを変更します。この IP アドレスは、表示機の設定に合わせる必要があります。
変更前のネットワークの設定値を控えたあと、IP アドレスを変更します。
工場出荷値のまま使用している場合、IP アドレスは上記画像のとおり設定してください。

※表示機設定ファイルを変更した場合はこの限りではありませんので、
　適宜変更してください。
※普段有線 LAN でインターネットをお使いの場合、
　上記設定変更でインターネットが使用できなくなります。
　QV Web 使用後は、上記設定を変更前の値に戻してください。
※表示機に設定している IP アドレスとパソコンで設定する IP アドレスは
　12 桁全てを同じ値に設定しないでください。
　同じネットワーク内で使っている IP アドレスが重複することになり、
　正常に通信が行えません。

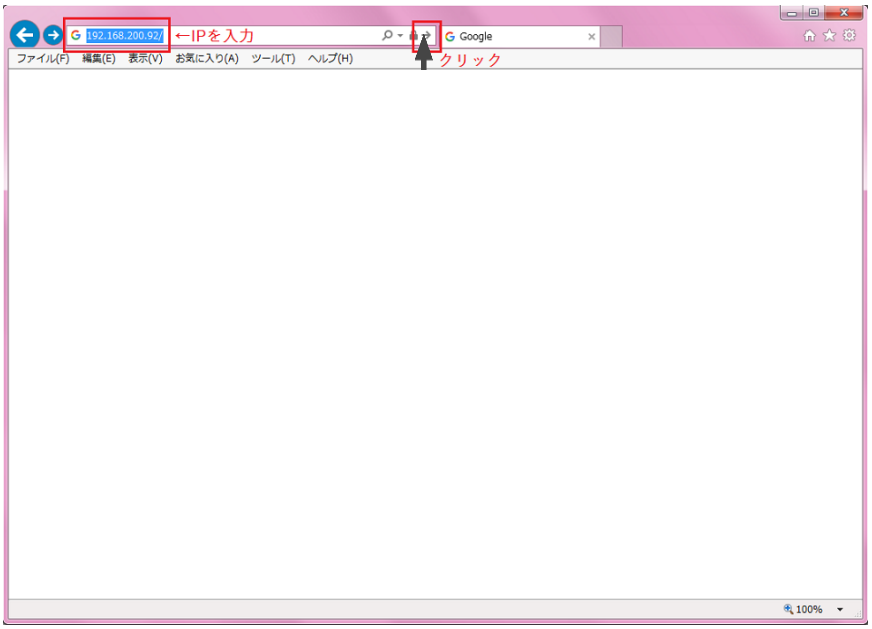
参考：表示機の工場出荷値



※IP アドレスは、ログイン冊子に記載されています。
※IP アドレスは「192.168.0.1**」と設定されています。
（**は製品に貼られている仕様銘板に記載の製造番号の下 2 桁）

2.1.3. ログイン画面を表示する

お使いの機器で Web ブラウザ
(Internet Explorer, Microsoft Edge, Firefox, Safari, Google Chrome など)を起動します。



Internet Explorer の画面を例に説明します。
アドレスバーに表示機の IP アドレスを入力します。
工場出荷値のままご使用されている場合は「ログイン冊子に記載されている IP」を入力し
アドレスバーの「→」をクリックするか、「Enter」キーを押します。

ログイン画面が表示されたら、3. QV Web の基本操作へ進んでください。
※IP アドレスは「192.168.0.1**」と設定されています。
(**は製品に貼られている仕様銘板に記載の製造番号の下 2 桁)

2.2. 無線 LAN で接続する

2.2.1. Android タブレット端末(HUAWEI MediaPad T3)での操作例

設定済タブレットが付属する場合、
ホーム画面に表示される
アイコンをタップすることで、
手順を省略できる場合があります。

アイコンをタップしても
ログイン画面に繋がらない場合は、
2.2.1.1.機器を Wi-Fi に接続するへ
進んでください。

端末を再起動するとアイコンの表示が
変化する場合がありますが問題ありません。

◆アイコンの変化例

2.2.1.1. 機器を Wi-Fi に接続する

付属のタブレットでアイコンからログイン画面が開ける場合はこの手順は必要ありません。

お使いの機器で、Wi-Fi 設定画面を開きます。

設定アイコンをタップします。

付属のタブレットで設定アイコンがホーム画面に無い場合、
画面上部からスライドし、クイック設定ツール(右の黒いメニュー)を表示します。
その後、ショートカットを開き、設定をタップします。

Wi-Fi をタップします。

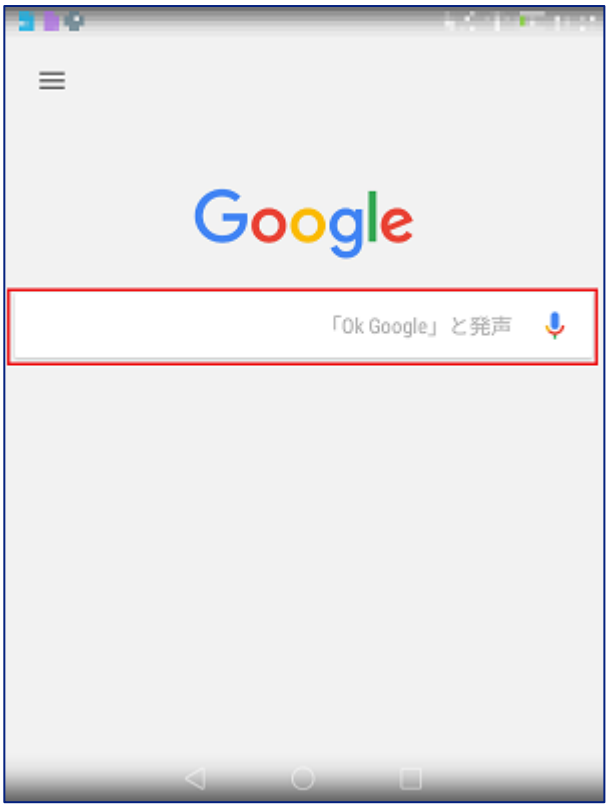
Wi-Fi がオフの場合、オンにすると表示される SSID 一覧からネットワークを選択します。
Wi-Fi がオンの場合、SSID を控えてからネットワークを選択します。
※SSID は、ログイン冊子に記載されています。
※SSID は「製品コード_製造番号」もしくは「製品コード一部_製造番号」と設定されています。

ネットワークを選択したら、
パスワードを入力し、Wi-Fi に接続します。
パスワードの工場出荷値は
「passwordfree」です。

※インターネット未接続という表示が出る
ことがありますが問題ありません。

※QVWeb 使用後、平時の Wi-Fi 使用が出来
ない場合は SSID の設定を戻してください。

2.2.1.2. ログイン画面を表示する



お使いの機器で Web ブラウザ
(Internet Explorer, Microsoft Edge, Firefox, Safari, Google Chrome など)を起動します。

検索欄に IP アドレスを入力します。
工場出荷値のままご使用されている場合は
「ログイン冊子に記載されている IP」
を入力します。

入力したら、ソフトウェアキーボードの「→」
をタップして、QV Web 設定に接続します。

※IP アドレスは「192.168.0.1**」と
設定されています。
(**は製品に貼られている仕様銘板に
記載の製造番号の下 2 桁)

ログイン画面が表示されたら、
3. QV Web の基本操作へ進んでください。

2.2.2. iPhone での操作例

2.2.2.1. 機器を Wi-Fi に接続する

お使いの機器で、Wi-Fi 設定画面を開きます。

設定アイコンをタップします。

Wi-Fi をタップします。

Wi-Fi がオフの場合、
オンにすると表示される SSID 一覧から
ネットワークを選択します。

Wi-Fi がオンの場合、
SSID を控えてから
ネットワークを選択します。

※SSID：「製品コード_製造番号」もしくは
「製品コード一部_製造番号」
※SSID は、ログイン冊子に
　記載されています。

ネットワークを選択したら
パスワードを入力し、Wi-Fi に接続します。
パスワードの工場出荷値は
「passwordfree」です。

※画像のようなンターネット未接続という表示は問題ありません。
※QVWeb 使用後、平時の Wi-Fi 使用が出来ない場合は SSID の設定を戻してください。

2.2.2.2. ログイン画面を表示する

お使いの機器で Web ブラウザ
(Internet Explorer, Microsoft Edge, Firefox, Safari, Google Chrome など)を起動します。

アドレスバーに IP アドレスを入力します。
工場出荷値のままご使用されている場合は
「ログイン冊子に記載されている IP」
を入力します。

入力したら、ソフトウェアキーボードの
「開く」をタップして、
QV Web 設定に接続します。

※IP アドレスは「192.168.0.1**」と
設定されています。
(**は製品に貼られている仕様銘板に
記載の製造番号の下 2 桁)

ログイン画面が表示されたら、
3. QV Web の基本操作へ進んでください。

3. QV Web の基本操作

3.1. ログインする

有線 LAN 接続，無線 LAN 接続，パソコン，スマートフォン関係なく、以降の操作は共通となります。

パスワードを入力して
「ログイン」をクリックします。
パスワードの工場出荷値は「pass」です。

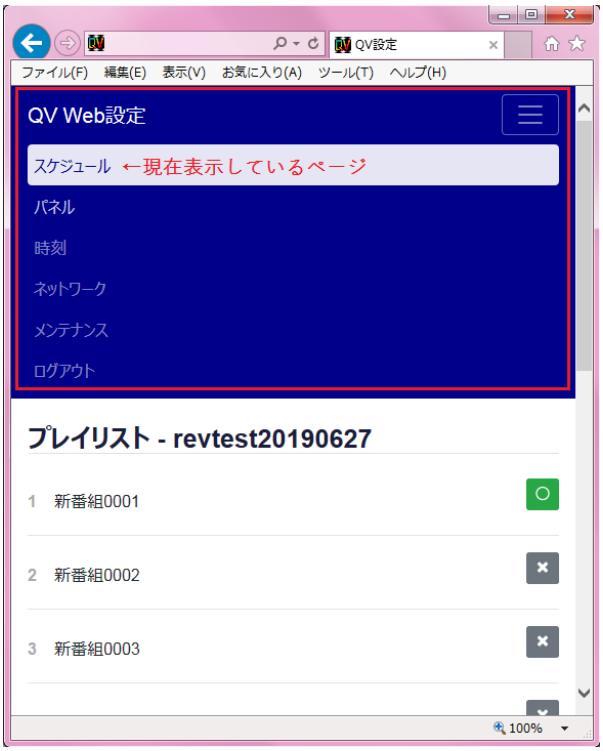
なお、パスワードの変更方法については
7. 機能説明 ~ネットワーク~を
参照してください。

3.2. 基本操作

QV Web の画面の基本的な操作方法を説明します。

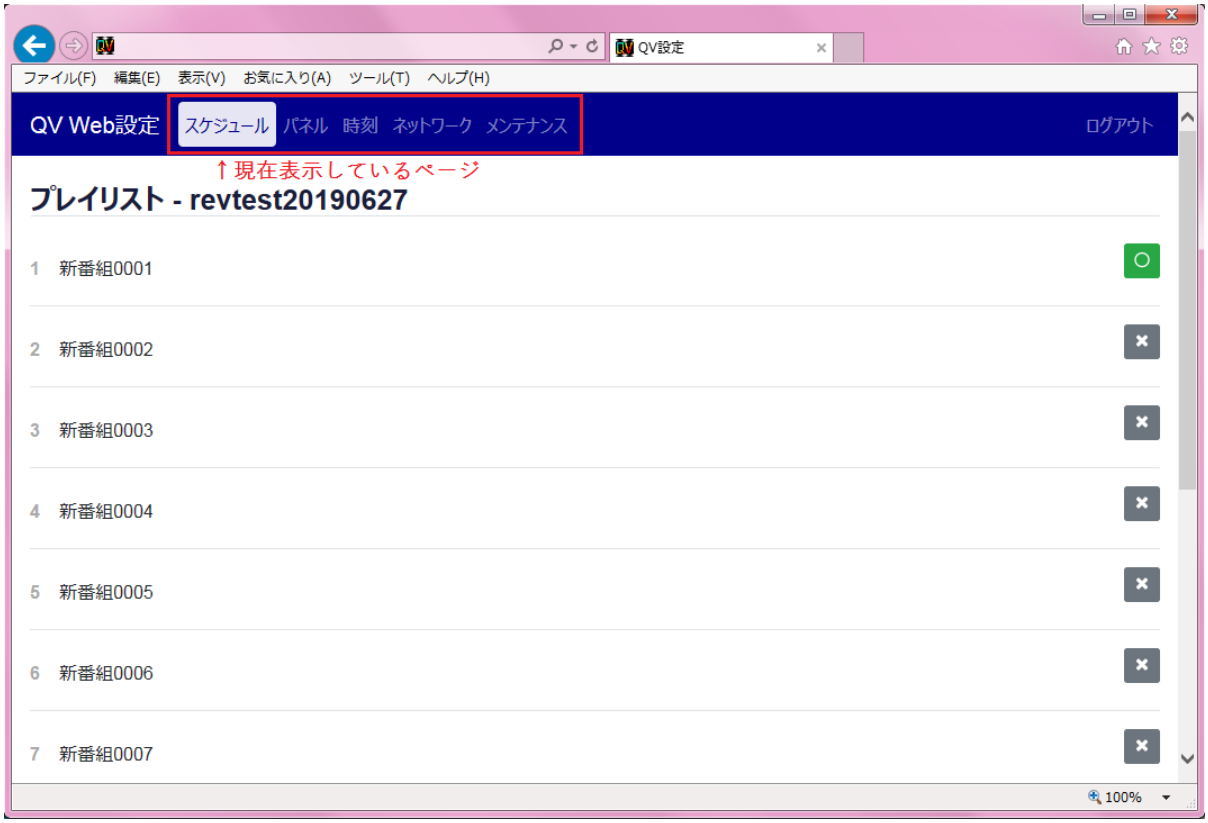
3.2.1. メニューについて

右上のハンバーガーメニュー(三本線のマーク)をクリックします。



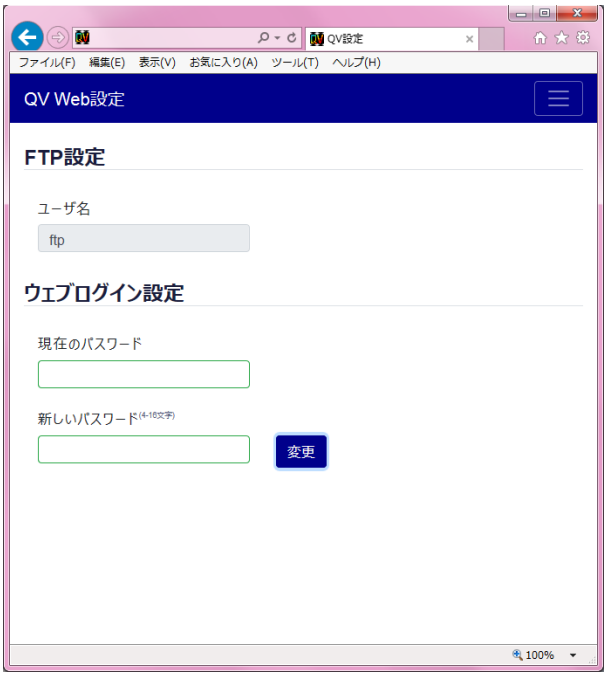
メニューが開きます。

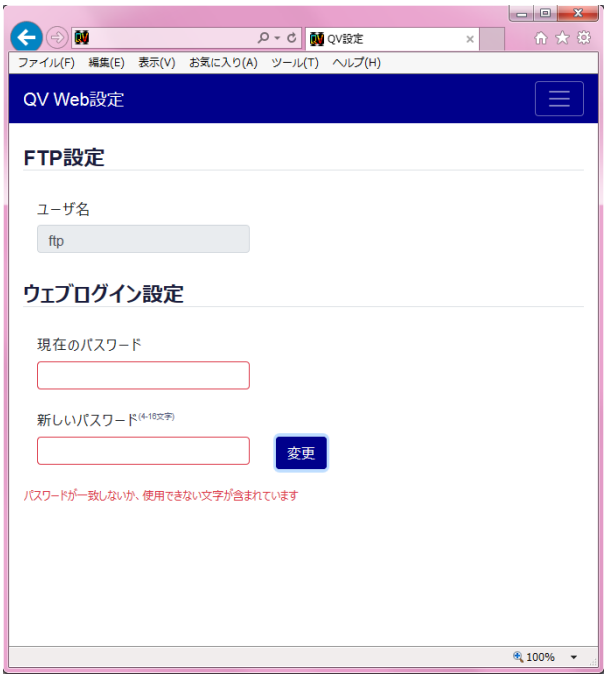
メニューはブラウザの解像度に応じて自動調整され、以下のように表示される場合もあります。



メニューで表示したい項目をクリックすると、そのページへ遷移します。

3.2.2. 設定の反映について





設定が反映されると、設定項目の枠が緑色になります。
また、設定に間違いがある場合、枠は赤色になります。

3.3. ログアウト

操作が終わったらログアウトを行います。
メニューのログアウトを選択すると、ダイアログが表示されます。
「はい」を選択するとログアウトし、ログイン画面へ戻ります。

ログアウト後、有線接続や
Wi-Fi 接続をする場合、
必要に応じ変更した IP 設定や
SSID 設定を元に戻してください。

※不特定多数が使うパソコンや
スマートフォンでログインした場合は
セキュリティ上、
ログアウトを忘れないようにしてください。

3.4. 表示機の工場出荷値

QV Web 設定

ログインパスワード ：pass

無線 LAN 設定

SSID :「製品コード_製造番号」もしくは「製品コード一部_製造番号」
Pass : passwordfree

表示機設定ファイル

IP アドレス ：192.168.0.1**
(**は製品に貼られている仕様銘板に記載の製造番号の下 2 桁)
サブネットマスク ：255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ ：192.168.0.254
DNS サーバ ： 空欄

SSID, IP アドレスについてはログイン冊子に記載されています。

4. 機能説明 ~スケジュール~

プレイリストごとに表示の ON/OFF、営業時間に合わせた表示の ON/OFF 設定、
スケジュールのシンプル/プロ確認、が行えます。

メニューから「スケジュール」を開きます。

4.1. プレイリスト設定

表示コンテンツの番組それぞれに対し、表示する/表示しないの設定をできます。
プレイリストの横に現在のコンテンツ名が表示されます。
表示機へあらかじめ多くの番組を登録しておくことで、
再度送りなおすなどの手間無く、QV Web 設定から表示の切り替えが可能となります。

表示したい番組の横にある
○または×をクリックします。

表示されている状態

表示されない状態

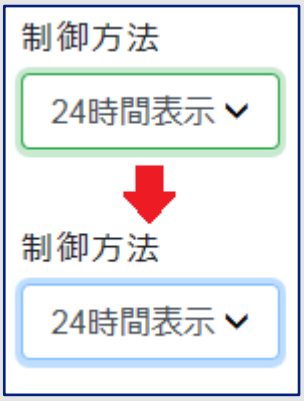
4.2. 営業時間

営業時間の設定ができます。営業時間の設定では、表示方法について、3 種類の設定が行えます。
また、スケジュールの動作方法の確認も行えます。

4.2.1. 24 時間表示をし続けたい場合

制御方法を「24 時間表示」に設定します。
制御方法の「∨」をクリックします。

「24 時間表示」を選択します。



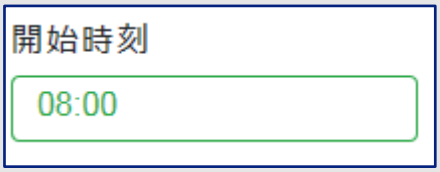
◆反映後の表示(緑色→青色)

4.2.2. 営業時間帯だけ表示したい場合

制御方法を「時刻を指定」に設定します。

制御方法の「∨」をクリックします。

「時刻を指定」を選択すると、
「開始時刻」と「終了時刻」の
2 つの枠が表示されます。
営業の開始時刻と営業の終了時刻を
それぞれ入力することで、
営業中の時間中のみ表示が出るように
設定されます。



◆時刻設定反映時の様子(枠が緑色)

※営業時間外の時刻でも、
表示機は電源が入っていることを示すため、
表示機の右上 1 ドットが点滅します。

時刻設定の Q&A

Q. 営業時間が午前 9 時~午後 5 時の場合、どのように入力したらよいか。
A. 開始時刻を 9:00, 終了時刻を 17:00 と設定することで、
午前 9 時~午後 5 時の間だけ表示するようになります。

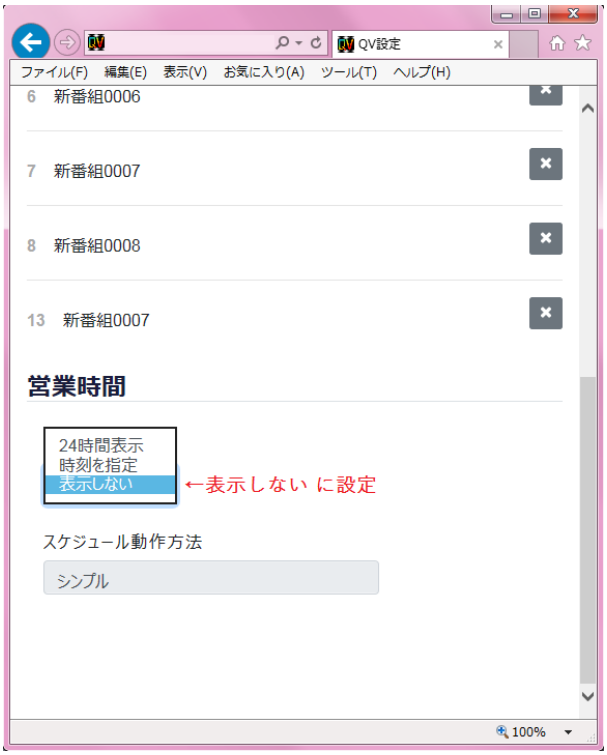
Q. 午後の時刻を設定するにはどのように入力したらよいか。
A. 時刻は 24 時制（午後 1 時：○13:00 ×1:00）で入力します。
例えば午後 1 時の場合は、13:00 と入力してください。

Q. 午前 0 時を挟んで設定することは可能か。
A. 可能です。
たとえば、開始時刻を 5:00, 終了時刻を 3:00 という設定にすることができます。
この場合は午前 5 時から翌日午前 3 時まで表示され、
午前 3 時から午前 5 時までは表示機の右上 1 ドットのみ点滅するようになります。

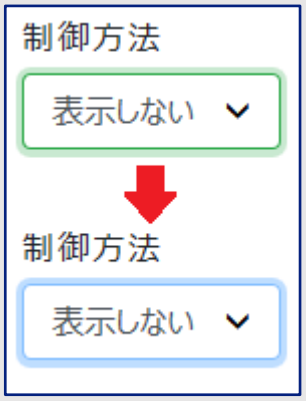
4.2.3. 全く表示したくない場合

制御方法を「表示しない」に設定します。

制御方法の「∨」をクリックします。



「表示しない」を選択します。



◆反映後の表示(緑色→青色)

※「表示しない」を設定した場合でも、
表示機は電源が入っていることを示すため、
表示機の右上１ドットが点滅します。

4.2.4. スケジュール動作方法

スケジュールの動作方法を確認できます。
ここで設定値の変更は行えません。

シンプル
　「表示」に設定したプレイリストを
　順番に表示
プロ
　表示期間や時刻など
　詳細設定したスケジュールに基づき表示

5. 機能説明 ~パネル~

表示機の表示の輝度の設定ができます。目的に応じて 2 種類の輝度設定方法があります。

ずっと同じ明るさで表示したい
↓
5 .1.固定輝度 へ

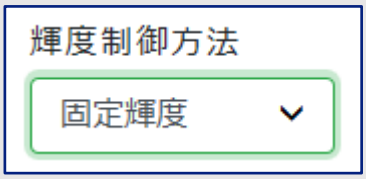
昼と夜で明るさを変更したい
↓
5 .2.昼夜 2 段階輝度 へ

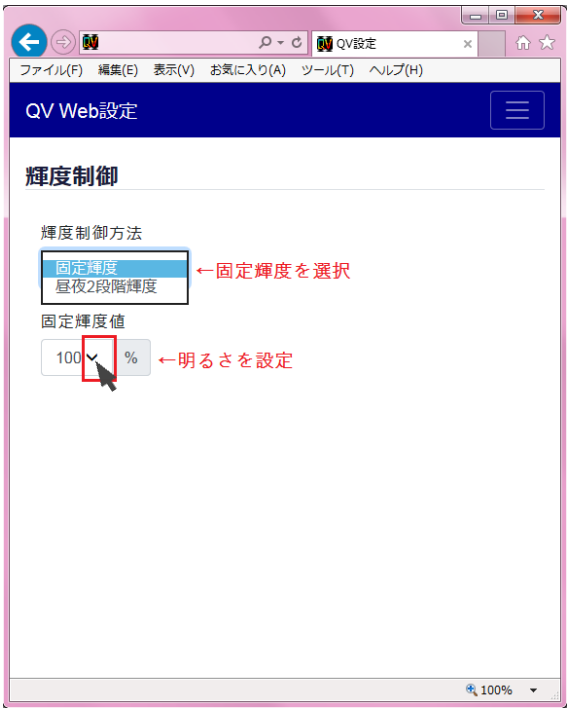
メニューから「パネル」を選択してください。

5.1. 固定輝度

時刻に関わらず、常に一定の明るさで
表示する設定です。

輝度制御方法の「∨」をクリックします。



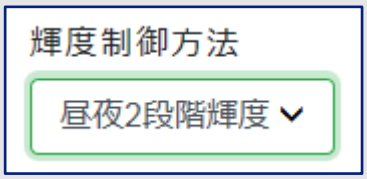


表示されたプルダウンリストから
「固定輝度」を選択し
固定輝度値を 0~100%で設定します。
設定値は、0%だと何も表示されなくなり
100%だと最大の明るさとなります。

5.2. 昼夜 2 段階輝度

昼と夜で自動的に明るさを変更する設定です。
明るさの設定をした後、時刻の設定を行います。

輝度制御方法の「∨」をクリックします。



◆反映後の表示(緑色)

「昼夜 2 段階輝度」を選択し、
昼の明るさと、夜の明るさを設定します。
その後、夜と昼の時刻を設定します。

◆反映後の表示(緑色)

設定する値に迷ったら

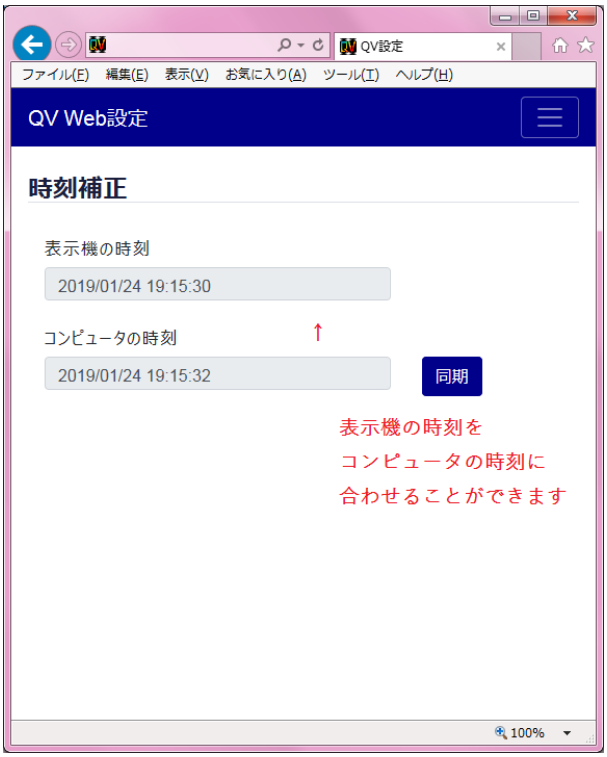
Q. 昼間や雪の中など明るい時間帯でも表示をはっきりと映したい。
A. 100%に設定してみてください。100%は最大の設定値です。

Q. 表示機の消費電力を抑えたい
A. 夜のみ少し低い値に設定してみてください。周りが暗い時間帯であれば輝度を下げてもはっきりと映します。

6. 機能説明 ~時刻~

表示機の時刻がずれている場合、
QV Web 設定に接続している機器の時刻に合わせることができます。

メニューから「時刻」を選択します。



表示機の時刻とコンピュータの時刻との
ずれが大きい場合は「同期」をクリックし、
時刻を合わせてください。

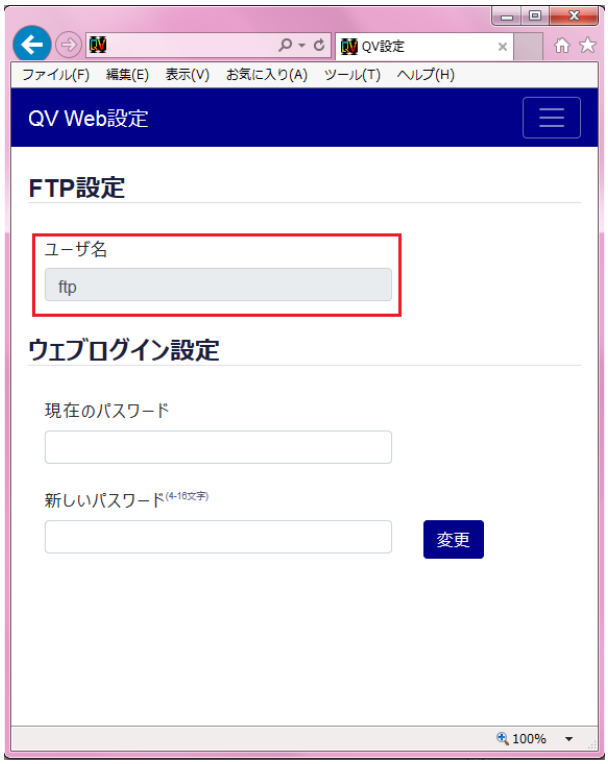
コンピュータの時刻とは、
PC またはタブレット端末に
設定されている時刻のことです。

7. 機能説明 ~ネットワーク~

MK QV Editor の LAN 通信時に使用する FTP ユーザ名の確認と
QV Web 設定のログインパスワード変更をすることができます。

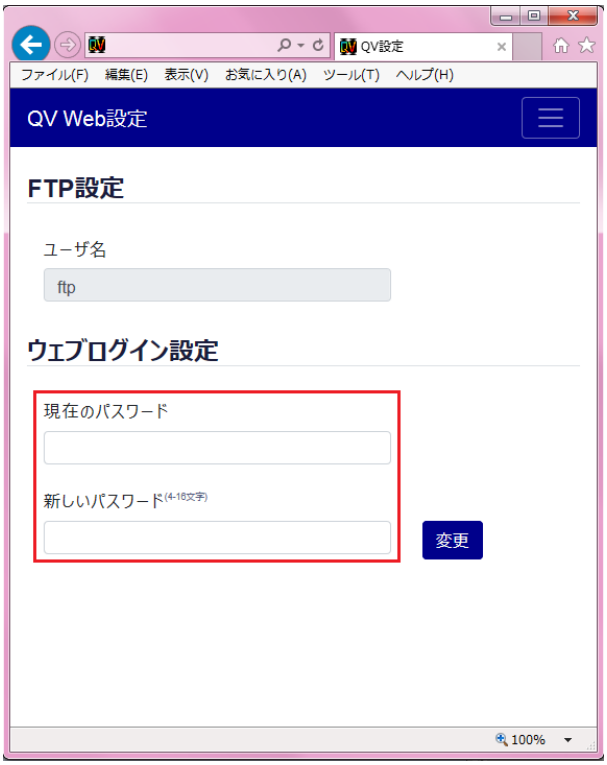
メニューから「ネットワーク」を選択します。

7.1. ftp ユーザ名確認



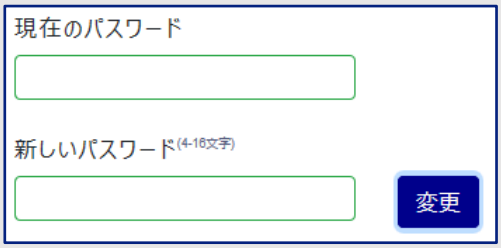
ftp のユーザ名を確認することが出来ます。

7.2. QV Web 設定ログインパスワード変更



QV Web のログインパスワードを
変更します。

パスワードは
半角英数字記号で 4~16 字で設定します。
現在のパスワードと新しいパスワードの
2 か所を入力し、
「変更」ボタンをクリックします。



◆反映後の表示(緑色)

※変更後のパスワードは必ず控えてください。パスワードを変更すると前のパスワードでログインできなくなります。

8. 機能説明 ~メンテナンス~

シリアル No.，ソフトウェアバージョン，ログなど、
お困りの際に問題を解決する手がかりとなる情報が表示されます。

メニューから「メンテナンス」へ移動します。

8.1. 製品情報確認

表示機の情報として、
シリアル No.とソフトウェアバージョンを
確認できます。

8.2. 表示機の再起動

表示機の再起動を行います。

「再起動」ボタンをクリックすると、
表示機を再起動します。

※再起動中に接続先が別の無線 LAN 機器(SSID)に切り替わる場合があります。
QV Web に繋がらなくなった場合、再度 2.2. 無線 LAN で接続するをご確認ください。

8.3. ログのダウンロード

通信,NTP, アップデートに関するログを確認できます。各ログのダウンロード方法は共通です。
お使いの環境により、ダウンロードボタンでログを保存する場合と、
ログをブラウザに表示する場合があります。

8.3.1. 例 ~通信ログをダウンロードして保存する~

ダウンロードしたいログの
「ダウンロード」ボタンを
クリックします。

ダウンロードするファイルが
表示されるので、
「保存」ボタンをクリックします。
※環境により保存の代わりに
ログファイルがブラウザに
開かれる場合があります。

ダウンロードが完了したら、
「フォルダーを開く」ボタンをクリックし、
ダウンロードしたログを確認します。

8.4. 表示コンテンツのクリア

現在表示機で表示しているコンテンツを消去し、
表示を消します。

コンテンツを表示する場合は、
表示機へ再度コンテンツを送信してください。

※表示コンテンツのクリアを行った場合、
表示機は電源が入っていることを示すため、
表示機の左上 1 ドットが点滅します。

9. よくある質問

9.1. QV Web への接続について知りたい

Q. 有線 LAN での接続ができない。

A. LAN ケーブルが刺さっているか確認してください。
IP アドレスを変更したか確認してください。
表示コンテンツの設定を変えている場合は、
表示機設定ファイルで設定した IP アドレスとなります。

Q. 無線 LAN での接続ができない。

A. パソコンの無線 LAN 機能を ON にしてあるか確認してください。
QV Web の再起動後に繋がらなくなった場合、もう一度 SSID の確認をしてください。

Q. 別の表示機の QV Web に接続してしまう。

A. 表示機設定ファイルの SSID が同じものになっていないか確認してください。

Q. IP アドレス, SSID を忘れてしまった。

A. 工場出荷時の設定で使用している場合、ログイン冊子をご確認ください。

9.2. インターネットが使えなくなった

Q. 有線 LAN 設定をしたら、インターネットにつながらなくなった。

A. IP アドレスの設定を元に戻してください。
方法は 2.1. 有線 LAN で接続すると同様です。

Q. 無線 LAN 設定をしたら、インターネットにつながらなくなった。

A. SSID の設定を元に戻してください。
方法は 2.2. 無線 LAN で接続すると同様です。

9.3. 明るさ・表示時間について知りたい

Q. 通常時の明るさを変えたい。
A. 5.1. 固定輝度を参照してください。

Q. 昼と夜で明るさを変えたい。
A. 5.2. 昼夜 2 段階輝度を参照してください。

Q. 夜は表示したくない。
A.4.2.2. 営業時間帯だけ表示したい場合を参照してください。

9.4. 時刻・日付について

Q. 表示機に表示される時刻がおかしい。
A. 表示機の時刻がずれてきてしまっている可能性があります。
コンピュータの時刻へ同期させてください。
方法については 6. 機能説明 ~時刻~を参照してください。

9.5. パスワードについて知りたい

Q. QV Web の初期パスワードが知りたい。
A. pass です。

Q. 無線 LAN の初期パスワードが知りたい。
A. passwordfree です。

Q. QV Web のパスワードを忘れてしまった。
A. ご購入の販売店へお問い合わせください。

Q. 無線 LAN のパスワードを忘れてしまった。
A. ご購入の販売店へお問い合わせください。
MK QV Editor でコンテンツ管理されている場合は、当該コンテンツの表示機システム設定にある無線 LAN のパスワードをご確認ください。

10. 索引

IP アドレス 4
新しいパスワード 35
アップデート 38
営業時間 24
NTP 38
基本操作 19
固定輝度 30
再起動 37
時刻 33
時刻を指定 25
シリアル No. 36
シンプル 28
スケジュール 23
スケジュール動作方法 28
接続 3
接続方法 3
設定値 32
ソフトウェアバージョン 36
ダウンロード 38
昼夜 2 段階輝度 31
通信 38
同期 33
24 時間表示 24
ネットワーク 34
パネル 29
表示コンテンツのクリア 40
表示しない 27
プレイリスト 23
プロ 28
無線 LAN 10
メニュー 19
メンテナンス 36
有線 LAN 4
よくある質問 41
ログ 36
ログアウト 22
ログイン 18
ログイン画面 9
ログインパスワード 34
Wi-Fi 10, 15

ライセンス及び著作権

本製品には、下記のライセンス条項に基づくソフトウェア及びフォントが含まれます。
各種ソフトウェア及びフォントの著作権、商標権、特許権を含む知的財産権については、各知的財産権の保有者に帰属します。
各種ソフトウェア及びフォントの免責条項については、各種ソフトウェア及びフォントのライセンスを参照してください。

ソースコードの入手方法について

お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPLに従い、複製、頒布及び改変することができます。
本製品に搭載されている当該ソフトウェアのソースコード提供を希望される場合は、
取扱説明書(本書)に記載の弊社窓口にご連絡いただけますようお願いします。
尚、ソースコードの内容等についてのご質問にはお答えいたしかねますので、予めご了承ください。

ライセンス

1. GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.,
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies
of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your
freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public
License is intended to guarantee your freedom to share and change free
software—to make sure the software is free for all its users. This
General Public License applies to most of the Free Software
Foundation's software and to any other program whose authors commit to
using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by
the GNU Lesser General Public License instead.) You can apply it to
your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not
price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you
have the freedom to distribute copies of free software (and charge for
this service if you wish), that you receive source code or can get it
if you want it, that you can change the software or use pieces of it
in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid
anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights.
These restrictions translate to certain responsibilities for you if you
distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether
gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that
you have. You must make sure that they, too, receive or can get the
source code. And you must show them these terms so they know their
rights.

We protect your rights with two steps:
(1) copyright the software, and
(2) offer you this license which gives you legal permission to copy,
distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain
that everyone understands that there is no warranty for this free
software. If the software is modified by someone else and passed on, we
want its recipients to know that what they have is not the original, so
that any problems introduced by others will not reflect on the original
authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software
patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free
program will individually obtain patent licenses, in effect making the
program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any
patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and
modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains
a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed
under the terms of this General Public License. The "Program", below,
refers to any such program or work, and a "work based on the Program"
means either the Program or any derivative work under copyright law:
that is to say, a work containing the Program or a portion of it,
either verbatim or with modifications and/or translated into another
language. (Hereinafter, translation is included without limitation in
the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not
covered by this License; they are outside its scope. The act of
running the Program is not restricted, and the output from the Program
is covered only if its contents constitute a work based on the
Program (independent of having been made by running the Program).
Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's
source code as you receive it, in any medium, provided that you
conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate
copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the
notices that refer to this License and to the absence of any warranty;
and give any other recipients of the Program a copy of this License
along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and
you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion
of it, thus forming a work based on the Program, and copy and
distribute such modifications or work under the terms of Section 1
above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices
stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in
whole or in part contains or is derived from the Program or any
part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third
parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively
when run, you must cause it, when started running for such
interactive use in the most ordinary way, to print or display an
announcement including an appropriate copyright notice and a
notice that there is no warranty (or else, saying that you provide
a warranty) and that users may redistribute the program under
these conditions, and telling the user how to view a copy of this
License. (Exception: if the Program itself is interactive but
does not normally print such an announcement, your work based on
the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify
it under the terms of the GNU General Public License as published by
the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or
(at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful,
but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of
MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along
with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc.,
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author
Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'.
This is free software, and you are welcome to redistribute it
under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items—whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program
`Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License.

2. GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.
51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software—to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages—typically libraries—of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy,

and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) The modified work must itself be a software library.

b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.

d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the

original copyright holder who places the Library under this License may add
an explicit geographical distribution limitation excluding those countries,
so that distribution is permitted only in or among countries not thus
excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if

written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new
versions of the Lesser General Public License from time to time.
Such new versions will be similar in spirit to the present version,
but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library
specifies a version number of this License which applies to it and
"any later version", you have the option of following the terms and
conditions either of that version or of any later version published by
the Free Software Foundation. If the Library does not specify a
license version number, you may choose any version ever published by
the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free
programs whose distribution conditions are incompatible with these,
write to the author to ask for permission. For software which is
copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free
Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our
decision will be guided by the two goals of preserving the free status
of all derivatives of our free software and of promoting the sharing
and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO
WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW.
EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR
OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY
KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR
PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE
LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME
THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN
WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY
AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU
FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR
CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE
LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING
RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A
FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF
SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH
DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest
possible use to the public, we recommend making it free software that
everyone can redistribute and change. You can do so by permitting
redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the
ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is
safest to attach them to the start of each source file to most effectively
convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the
"copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or
modify it under the terms of the GNU Lesser General Public
License as published by the Free Software Foundation; either
version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful,
but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of
MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU
Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public
License along with this library; if not, write to the Free Software
Foundation, Inc., 51 Franklin St, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your
school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if
necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the
library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

3. SIL OPEN FONT LICENSE Version 1.1

SIL OPEN FONT LICENSE Version 1.1 - 26 February 2007

PREAMBLE
The goals of the Open Font License (OFL) are to stimulate worldwide
development of collaborative font projects, to support the font creation
efforts of academic and linguistic communities, and to provide a free and
open framework in which fonts may be shared and improved in partnership
with others.

The OFL allows the licensed fonts to be used, studied, modified and
redistributed freely as long as they are not sold by themselves. The
fonts, including any derivative works, can be bundled, embedded,
redistributed and/or sold with any software provided that any reserved
names are not used by derivative works. The fonts and derivatives,
however, cannot be released under any other type of license. The
requirement for fonts to remain under this license does not apply
to any document created using the fonts or their derivatives.

DEFINITIONS
"Font Software" refers to the set of files released by the Copyright
Holder(s) under this license and clearly marked as such. This may
include source files, build scripts and documentation.

"Reserved Font Name" refers to any names specified as such after the
copyright statement(s).

"Original Version" refers to the collection of Font Software components as
distributed by the Copyright Holder(s).

"Modified Version" refers to any derivative made by adding to, deleting,

or substituting — in part or in whole — any of the components of the
Original Version, by changing formats or by porting the Font Software to a
new environment.

"Author" refers to any designer, engineer, programmer, technical
writer or other person who contributed to the Font Software.

PERMISSION & CONDITIONS
Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining
a copy of the Font Software, to use, study, copy, merge, embed, modify,
redistribute, and sell modified and unmodified copies of the Font
Software, subject to the following conditions:

1) Neither the Font Software nor any of its individual components,
in Original or Modified Versions, may be sold by itself.

2) Original or Modified Versions of the Font Software may be bundled,
redistributed and/or sold with any software, provided that each copy
contains the above copyright notice and this license. These can be
included either as stand-alone text files, human-readable headers or
in the appropriate machine-readable metadata fields within text or
binary files as long as those fields can be easily viewed by the user.

3) No Modified Version of the Font Software may use the Reserved Font
Name(s) unless explicit written permission is granted by the corresponding
Copyright Holder. This restriction only applies to the primary font name as
presented to the users.

4) The name(s) of the Copyright Holder(s) or the Author(s) of the Font
Software shall not be used to promote, endorse or advertise any
Modified Version, except to acknowledge the contribution(s) of the
Copyright Holder(s) and the Author(s) or with their explicit written
permission.

5) The Font Software, modified or unmodified, in part or in whole,
must be distributed entirely under this license, and must not be
distributed under any other license. The requirement for fonts to
remain under this license does not apply to any document created
using the Font Software.

TERMINATION
This license becomes null and void if any of the above conditions are
not met.

DISCLAIMER
THE FONT SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND,
EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT
OF COPYRIGHT, PATENT, TRADEMARK, OR OTHER RIGHT. IN NO EVENT SHALL THE
COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY,
INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INDIRECT, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL
DAMAGES, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING
FROM, OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE FONT SOFTWARE OR FROM
OTHER DEALINGS IN THE FONT SOFTWARE.

4. The 3-Clause BSD License
———

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification,
are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this

list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice,
this list of conditions and the following disclaimer in the documentation
and/or other materials provided with the distribution.

3. Neither the name of the copyright holder nor the names of its contributors
may be used to endorse or promote products derived from this software without
specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND
ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED
WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE
DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE
FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR
SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER
CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY,
OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE
OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

5. The MIT License
———

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of
this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in
the Software without restriction, including without limitation the rights to
use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of
the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so,
subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all
copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR
IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS
FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR
COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER
IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN
CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

6. zlib License
———

This software is provided 'as-is', without any express or implied
warranty. In no event will the authors be held liable for any damages
arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose,
including commercial applications, and to alter it and redistribute it
freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not
claim that you wrote the original software. If you use this software
in a product, an acknowledgment in the product documentation would be
appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be
misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

7. PSF LICENSE AGREEMENT FOR PYTHON 3.5
———

1. This LICENSE AGREEMENT is between the Python Software Foundation ("PSF"), and
the Individual or Organization ("Licensee") accessing and otherwise using Python
3.5 software in source or binary form and its associated documentation.

2. Subject to the terms and conditions of this License Agreement, PSF hereby
grants Licensee a nonexclusive, royalty-free, world-wide license to reproduce,
analyze, test, perform and/or display publicly, prepare derivative works,
distribute, and otherwise use Python 3.5 alone or in any derivative
version, provided, however, that PSF's License Agreement and PSF's notice of
copyright, i.e., "Copyright © 2001-2018 Python Software Foundation; All Rights
Reserved" are retained in Python 3.5 alone or in any derivative version
prepared by Licensee.

3. In the event Licensee prepares a derivative work that is based on or
incorporates Python 3.5 or any part thereof, and wants to make the
derivative work available to others as provided herein, then Licensee hereby
agrees to include in any such work a brief summary of the changes made to Python
3.5.6.

4. PSF is making Python 3.5 available to Licensee on an "AS IS" basis.
PSF MAKES NO REPRESENTATIONS OR WARRANTIES, EXPRESS OR IMPLIED. BY WAY OF
EXAMPLE, BUT NOT LIMITATION, PSF MAKES NO AND DISCLAIMS ANY REPRESENTATION OR
WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE OR THAT THE
USE OF Python 3.5 WILL NOT INFRINGE ANY THIRD PARTY RIGHTS.

5. PSF SHALL NOT BE LIABLE TO LICENSEE OR ANY OTHER USERS OF Python 3.5
FOR ANY INCIDENTAL, SPECIAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR LOSS AS A RESULT OF
MODIFYING, DISTRIBUTING, OR OTHERWISE USING Python 3.5, OR ANY DERIVATIVE
THEREOF, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY THEREOF.

6. This License Agreement will automatically terminate upon a material breach of
its terms and conditions.

7. Nothing in this License Agreement shall be deemed to create any relationship
of agency, partnership, or joint venture between PSF and Licensee. This License
Agreement does not grant permission to use PSF trademarks or trade name in a
trademark sense to endorse or promote products or services of Licensee, or any
third party.

8. By copying, installing or otherwise using Python 3.5, Licensee agrees
to be bound by the terms and conditions of this License Agreement.

各種ソフトウェアのライセンス・著作権

==========

1. Linux

NOTE! This copyright does *not* cover user programs that use kernel
services by normal system calls - this is merely considered normal use
of the kernel, and does *not* fall under the heading of "derived work".
Also note that the GPL below is copyrighted by the Free Software
Foundation, but the instance of code that it refers to (the Linux
kernel) is copyrighted by me and others who actually wrote it.

Also note that the only valid version of the GPL as far as the kernel
is concerned is _this_ particular version of the license (ie v2, not

v2.2 or v3.x or whatever), unless explicitly otherwise stated.

Linus Torvalds

2. Google Noto Font

This Font Software is licensed under the SIL Open Font License,
Version 1.1.

This license is copied below, and is also available with a FAQ at:
http://scripts.sil.org/OFL

3. Driver for the Epson RTC module RX-8900 SA

Copyright(C) SEIKO EPSON CORPORATION 2014. All rights reserved.

Derived from RX-8025 driver:
Copyright (C) 2009 Wolfgang Grandegger <wg@grandegger.com>

Copyright (C) 2005 by Digi International Inc.
All rights reserved.

Modified by fengjh at rising.com.cn
<http://lists.lm-sensors.org/mailman/listinfo/lm-sensors>
2006.11

Code cleanup by Sergei Poselenov, <sposelenov@emcraft.com>
Converted to new style by Wolfgang Grandegger <wg@grandegger.com>
Alarm and periodic interrupt added by Dmitry Rakhchev <rda@emcraft.com>

This driver software is distributed as is, without any warranty of any kind,
either express or implied as further specified in the GNU Public License. This software may be used and distributed according to the terms of the GNU Public License, version 2 as published by the Free Software Foundation.
See the file COPYING in the main directory of this archive for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program. If not, see <http://www.gnu.org/licenses/>.

MEMO

アフターサービス並びに品質に関するお問い合わせは、お買い求めの販売店または、下記までご連絡ください。

エムケー精工株式会社　〒387-8603　長野県千曲市雨宮 1825 番地

製品に関するお問い合わせ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ TEL026(272)8023(代)

アフターサービス並びに品質に関するお問い合わせ・・・・・・ TEL026(272)8026(代)

札幌支店	TEL011(881)7311	名古屋支店	TEL052(461)7261
仙台支店	TEL022(258)3861	大阪支店	TEL06(6386)6494
東京支店	TEL03(3604)6441	福岡支店	TEL092(612)1077

VC-AA227Z100
2022.03.29